

西日本豪雨により被害を受けた方々へ心よりお見舞いを申し上げます。
一日も早い復旧と復興をお祈りいたします。

『スタッフ紹介』

はなえくぼ江南で働きだした7年前は認知症がどんなものかよく知りませんでした。利用者さんの行動が理解できず、認知症の人たちと過ごすことが辛く感じる時期もありました。しかし仕事の色々な悩みが解決されていくうちに認知症の人に対しての理解が深まっていき、利用者さんの行動の意味を少しずつ考えられるようになってきました。

当然ながら「認知症の人だから」の一言で片付けられないほど利用者さん達は奥深くとても繊細で、接するときの表情や声や仕草、はたまた遠くからの物音からさえ何かを感じ取っていると思います。私たち以上に何かを感じながら生活していると思います。ですから私からは快さを感じ取ってもらいたいと思い、常に意識しながら働くようになりました。

ちょこちょこ溜まるストレスや悩みはフレンドリーな職場環境と、愉快的な同僚達と吹き飛ばしながら働らいていきたいと思っています。

はなえくぼ江南 北館介護職員 O. T

『盆踊り』

ボランティアさんの協力を得て盆踊りを行いました。皆で輪になって踊る楽しさは盆踊りでしか体験できないかもしれませんね。アップテンポな曲もなんのその、キレキレなボンダンスを感性のおもむくままに踊って大いに盛り上がりました。

いつかは地域の盆踊りに参加してキレキレなボンダンスを披露できたらなと思っています。

『今年の夏は暑かった』

本当に暑い日が続きました。猛暑と言えば熱中症ですが、その予防は身体を温めすぎないこと。いくら汗をかいて体温を下げようとしても、気温が高いと体温は下がらず体温は高いまま。体温が高いまま放置すると熱中症になってしまいます。

まだまだ残暑が厳しい日が続きます。エアコンを使用し、しっかりと体温を下げられる気温をキープしてください。



はなえくぼ各ホームでは一緒に働く仲間を募集しています。和気あいあいの楽しいホームです。「仲間に入れるかしら?」「介護の仕事は初めてなんだけど・・・。」なんて心配はご無用です。まずは職場見学からお気軽にどうぞ。

『すいとぴあ江南七夕まつり、あいにくの大雨』

7月の上旬の一週間、すいとぴあ江南の七夕まつりへ参加する予定でしたが、連日の大雨のため、初日の二名以外はお出かけできませんでした。お出かけされた二名の利用者さん達の楽しそうな写真を見ると、お出かけできなかった方々には申し訳ない思いになってしまいます。また何か地域のイベントへの参加を考えたいと思います。

またこの期間の大雨により被害を受けた方々へお悔やみ申し上げます。

『わくわくまちたんけん』

草井小学校の課外授業で児童のみんなが訪れてくれました。利用者さんに直接質問しお話を聞いたり、今年の児童のみんなは過去一番の元気っ子で、次から次へと質問が止まりませんでした。

予定時間をオーバーし、途中水分補給を必要とするほど熱中した時間となりました。



9月1日より、はなえくぼ江南の介護職員1名が、はなえくぼ扶桑の管理者の後任として異動することとなりました。お世話になった方々へご報告させていただきます。はなえくぼ扶桑での更なる活躍に期待しております。

『気持ちに寄り添うケアを』

認知症の人のBPSDは、その人を取り巻く環境の鏡と言われたりします。BPSDは認知症の短期記憶障害、見当識障害、判断力の障害、実行機能障害などの直接的は症状から引き起こされる不安、焦燥感、イライラ、怒り、喪失感などのマイナスな感情が解消されずに蓄積されると暴言や暴力、被害的な妄想、帰宅願望や徘徊などの形として表されます。こう書くと「私だって自分の時間を犠牲にしてやってるじゃない!!」と怒る人もいるでしょう。認知症ケアで重要なことは「何をどれだけ伝えたか」です。つい無意識にイライラ、ツンケン、プリプリなどのマイナスな感情を伝えていませんか?必要なのは正しい理屈を伝えることではなく、態度や表情や仕草などから優しさを伝えることなのです。まずは鏡の中の自分にそっとスマイル。。。

ご見学随時受付いたしております。お気軽にお問い合わせください。
今回は、はなえくぼ扶桑便りです。どうぞお楽しみに!



グループホームはなえくぼ扶桑
丹羽郡扶桑町大字柏森字辻田398

(0587) 91-0110

グループホームはなえくぼひくみ

犬山市大字五郎丸字郷瀬川17番地1

(0568) 68-8096

グループホームはなえくぼ江南
江南市小杵町長者毛西132番地

(0587) 52-3808

はなえくぼのホームページ

www.gh-hanaekubo.com

ブログも時々更新しています